

「知床国立公園知床五湖利用調整地区における利用調整の期間及び利用者の人数の範囲等を定める告示の件」についての意見の募集の結果について

1. 意見募集の概要

「知床国立公園知床五湖利用調整地区における利用調整の期間及び利用者の人数の範囲等を定める告示の件」について、以下のとおりパブリックコメントを実施した。

○募集期間

平成22年9月2日（木）～10月1日（金）

○意見提出方法

郵送、ファックス又は電子メール

2. 提出された意見数 1件

3. 意見の概要と見解について

別添：提出された意見の概要及び見解

提出された意見の概要及び見解

意見の概要	見 解
<p>○ヒグマ活動期についてはガイド同行を前提としていますが、知床を幾度となく訪れており、ヒグマへの対処についても知識のある者からすれば、ひとりで歩くための余地を設けていただきたいと思います。たとえば、ヒグマスプレーの携行を義務づけ、所持していない場合はフィールドハウスで保証金を預かって貸出すれば可能なことだと思います。</p> <p>(使った場合は使用料を徴収)</p> <p>どうしてもガイド同行ということであれば、ガイドに対する費用は国費で負担する、もしくは非常に低廉な料金にすべきと考えます。</p> <p>○フィールドハウスでレクチャーを義務づけることは、受ける側からすると面倒も感じますが、基本的には賛成です。特に、団体ツアーの利用者には、フィールドでの心構えをきちんと喚起することが絶対に必要と思います。</p> <p>○一方通行にすることの効果は認めるものの、利用が5湖→1湖の一方通行となるのは抵抗があります。人間心理として数字順に周りたいという意識が自然だと思います。</p>	<p>○ヒグマ活動期については、利用調整地区を導入することで、利用者数の調整及び利用者の安全面を考慮することから知床五湖におけるヒグマ対処法を身につけた引率者の同行を必須としているところです。これは、安全面への配慮として、ヒグマの生態の理解、ヒグマスプレー等の対処技術の他に、安全に避難誘導するための知床五湖地区に関する地理的な知識や、他の利用団体との連携体制といった経験、技術が必要となるためです。料金等については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>○今後、利用調整地区において周知徹底を図っていきたいと考えています。</p> <p>○利用調整地区の地上歩道から利用調整地区の手続きが生じない高架木道への円滑な接続を考えた結果、今回の順路となっております。</p>